

武蔵村山市立小・中学校

学校図書館だより

— 本で育つ 本でつなぐ —

発行 武蔵村山市教育委員会

編集 武蔵村山市学校図書館活用推進プロジェクト学校図書館だより編集委員会



読書の魅力を

子供たちに

武蔵村山市教育委員会

委員長 高橋 勝義



学校教育法第21条には義務教育の目標の一つとして、「読書に親しませ、生活に

必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと」と、読書活動の充実について明記されています。子供たちが読書の魅力を味わったり、本を使って調べながら学ぶ方法を身に付けたりするためには、どうしたらよいのでしょうか。

それは、子供の読書環境を整え、本を活用して学ぶ方法を教える大人の存在が必要であると考えます。各学校においては、言語活動の充実させるための授業改善や、学校司書との連携を図った取組を充実させています。教員が研修を行っている学校もあります。

学校での取組を踏まえ、御家庭でも、ぜひ、読書の魅力を伝えてくださいますようお願いいたします。

子供たちの学力と学校図書館の充実

子供たちに「確かな学力」を身に付けさせるため、基礎的・基本的な知識・技能や、それらを活用するための思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度等を、学校と家庭が連携をして育んでいくことが求められております。

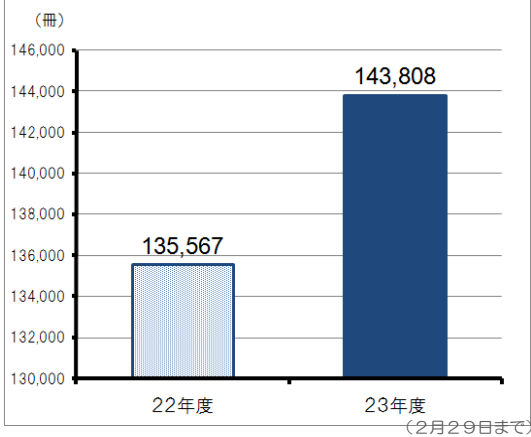
そうした「確かな学力」の基盤となるのは言語に関する能力です。言語に関する能力を身に付けさせるためには、子供たちが日常的に読書に親しんだり、進んで本を活用して調

べたりできるようにすることが大切です。

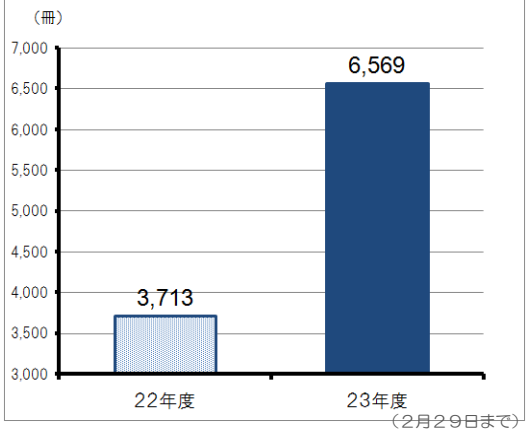
文部科学省による「全国学力・学習状況調査（平成22年度）」の結果によると、「読書が好きな児童・生徒の方が、正答率が高いこと」や「学校司書等を置いている学校の方が、正答率が高い傾向があること」が明らかとなっています。

本市では、平成21年度より全小・中学校に学校司書を配置し、学校図書館の充実を図ってまいりました。各学校の学校司書の様々な工夫により、毎年、貸出冊数等の増加が見られています。平成24年度は、学校司書の勤務日数増加により、学校図書館の更なる充実を図ってまいります。

貸出冊数総数の変化(小学校)



貸出冊数総数の変化(中学校)



【平成23年度 第四中学校の年間計画】

月	支援内容	月	支援内容	
4	オリエンテーション(1年) …図書室の配置、十進分類法説明 市立図書館利用マナー等 理科 校庭の植物調べ資料提供(1年)	12	総合 大豆調べ(2年) …資料作成支援・発表支援 総合 スキー教室 長野県調べ …市立図書館より資料借り受け 上田市観光案内所にて資料収集 民話朗読・調べ方助言	
5	朝読 読み聞かせ(1年)	1	国語 辞書辞典の使い方(1年) …TTとしての授業支援 国語 江戸調べ(1年) …取材メモの書き方支援・新聞作成支援	
6	総合 職場体験(1年) …目次・索引の使い方 インターネットの情報活用法 正しい情報の見極め方		2	国語 「少年の日の思い出」(1年) …朗読・ディスカッション支援 理科 地震メカニズム資料提供(1年)
7	朝読 読み聞かせ(3年) 国語 ブックトーク(3年) …テーマ「生きぬく！」 国語 ブックトーク(1年) …テーマ「サバイバル」 国語 人物調べ資料別置(2年) 社会 国調べ資料別置(2年)		3	国語 「坊ちゃん」朗読 …追い読み支援
9	総合 修学旅行資料提供(3年) 道徳 公開授業支援(1年) …朗読	<p>生涯学習につながる学び方を学び、調べ方を調べる場として機能させられるよう、学校司書の役割は大きいと考えます。</p> <p>学校司書は図書資料の充実を図るとともに、学校図書館が読書センターのみならず、学習情報センターとしても、中核となれるように努力しています。</p>		
10	総合 職場体験(1年) …学校司書体験受入れ 総合 大豆調べ(2年) …市立図書館・他校より資料借り受け ブックリスト作成、資料提供 調べ方助言			
11	総合 大豆調べ(2年) …資料活用法助言 図書委員会 NIEコンテスト出展作品作成 …資料提供・新聞作成支援			

学校図書館の活用の意義

児童生徒が学習の場として身近に学校図書館を活用できるようにするために、学校図書館を学習情報センターとして位置付けることが大切です。

具体的には、児童・生徒自らが課題を見付け、本・新聞・インターネット

等様々な資料の中から、自分に必要な情報を取捨選択し、まとめ、表現する能力の育成を図れるようにしていきたいと考えています。

調べることやまとめること自体が目的ではなく、調べたりまとめたりすることを通して、最終的に自分が何を考えたか、感じたかを表現することがとても大切です。

小中連携

調べ学習の実践事例

第七小学校 学校司書 稲葉 智子
第四中学校 学校司書 西 陽子

平成23年12月13日、市立第七小学校(以下「七小」と)と第四中学校(以下「四中」)合同の食育の研究発表会がありました。その中の公開授業の一つに、中学校第2学年が小学校第3学年に、大豆のことについて伝える授業がありました。中学生は図や絵を使った紙芝居などを使って、調べたことを伝えました。



四中の学校司書は、市立図書館からの本の借り受けのほか、紙芝居を作るための効果的な資料の使い方や発表の仕方について、生徒にアドバイスをしました。七小の学校司書は、市立図書館から大豆の本を借り受け、第3学年の学習に役立てました。また、四中・七小の学校司書同士で調べ学習の支援について打ち合わせ

せを行い、市内全校の学校司書に呼びかけ、学習に必要な本を集める取組をしました。

授業にも参加したことが、子供たちの調べ学習への的確な支援につながったと考えます。子供たちにとっても、担任とは違う視点からのアドバイスを受けることができ、学習が深まったと感じています。

これからも積極的に調べ学習に関わることによって、「文字で表現する能力」、「言語で伝える能力」を身に付けさせるお手伝いができればよいと考えています。

七小第3学年の学級担任は、「図書館からたくさんさんの資料を借りることができました。課題を解決するための本を探し、熱中して読んでいる子供の姿が見られました。分かったことをまとめて1年生に発表したり、廊下に掲示したりしました。たくさん本を用意していただき、ありがとうございました。」と話していました。



学校図書館を活用した

調べ学習の支援

第一小学校 学校司書

元木 愛枝

第一小学校では、調べ学習で学校

図書館にある本を活用できるように、先生方との連携を図っています。その方法として、「図書室連絡票」を作成し、翌週の読み聞かせの有無とテーマ、調べ学習用の本の準備予定等を記入していただいています。資料が図書室にない場合は、市立図書館から団体貸出を受けます。今年度は全学年で約20回の支援を行い、そのうち市立図書館の団体貸出を3回行いました。

調べ学習では、十進分類表に基づいて並べられている本の利用方法や、NDCの分類番号の意味、百科事典の使い方などを理解させ、子供自身で資料を見付けることができるように支援しています。また、どのページに必要な情報が書かれているかが分からない場合は、必ず本の目次や索引を見るように声掛けをしています。子供たちは目的の情報にたどり着くと「あったー!」「ここに載っていた!」と声に出して喜びます。

今年度、各学年に次のような支援を行ってきました。

○**二年生**の国語の昔話・民話の単元において、各学級28冊ずつ、昔話の絵本の貸出を行った。

○**三年生**の理科、学校の周りの生き物の学習において、「科学のアルバム」他、昆虫の本55冊の教室貸出を行った。

○**四年生**の社会、玉川上水の学習に関連して、「江戸に水がやってきた」の絵本を読み聞かせし、図書室にある「玉川上水散策絵図」を紹介するとともに、市の図書館からは解説書などを借用した。

○**五年生**、水田学習や社会科の公害産業の学習で支援を行った。

○**六年生**、日光移動教室における事前・事後の調べ学習の支援を行った。国語で意見文を書く授業において本のレファレンスなどを実施した。

「教室で皆が奪い合うようにして本を選び、熱心に文章を書き写していました。」と、本の返却の際に、学級担任からのお礼の手紙をいただきました。今後も多様な学習において活用できる図書室となるよう、図書資料の充実を図りたいと考えています。

ブックトークの学習

第十小学校 学校司書

木村 清子

「一つの花」を学習中の第5学年を対象に、戦争をテーマとしたブックトークを行いました。

まず、「一つの花」から主人公の父が家族を残して戦争に行くという場面を紹介し、実際に戦争に行った人の戦地からの手紙を見せました。子供たちは、びっしり書き込まれた一枚の葉書に驚いていました。

「一つの花」にはコスモスの花が出てきます。花が出てくる戦争の本や、同年代の子供の体験が書かれている本を紹介したりしました。

次に、原爆の写真を見せて、この地で亡くなった女の子とお地蔵さんの話「おこりじぞう」の読み聞かせをし、原爆の本を紹介しました。

「ひろしまのぴか」(丸木俊・絵・文)
「とうろうながし」(松谷みよこ・文)
丸木俊・絵

「まちんと」(松谷みよこ・文)
司修・絵

戦争は今でも続いているということを伝えるために、アフガニスタン

の難民のことが書かれている「せかいいちうつくしいぼくのむら」(小川豊・作・絵)を紹介しました。美しい村が一瞬にして破壊され、村の人々の復興までの道のりが描かれている三部作になっています。

過去・現在そして未来に向けてどうしたらいいのかを考える本、「たたひとりのたたかい」(アナイス・ウオージュラード・作・絵・平岡敦訳)この本は武器も軍隊もたずに戦争を終わらせた王子の話です。どんなふうにして終わらせたのか、子供たちは興味津々でした。

〈子供たちの感想〉

・戦地からの手紙を見て、一つの花が本にあったことと実感した。
・大人になれなかった弟のミルクを盗み飲みするなんてありえない。
・まちんとのお腹がすいていたんだなあ。
住の画家の司修さんが描かれたと知り、読んで

(司修氏は昨年「本の魔法」で、大佛次郎賞を受賞されました。)



この本、読もう 本は友達

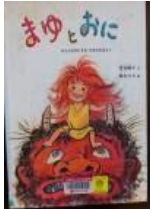
小学校国語の教科書には、学年ごとにたくさん本が紹介されています。絵本や物語以外にも科学の本、知識の本もあります。その中には、いわゆるロングセラーが多く含まれていますので、保護者の皆様が、過去に読まれた本も含まれているかと思えます。お子様と一緒に読んでみてはいかがですか。

市立図書館では所蔵調査を行い、未所蔵のものを購入し、本をそろえました（一部、品切れ及び絶版で入手できなかったものもあります）。読みたい本が学校図書館にない場合は、リクエストをしてください。

図書館の おすすめの本

【一年生】
「まゆとおに」 富安陽子・文
福音館書店

きたのおやまのて
つぺんのさんぼんす
ぎのしたに、ちいさな
いえがありました。



そのいえには、のつぽのやまんば
とやまんばのむすめ まゆがすんで
いました。

【二年生】
「たからものくらべ」 杉山 亮・作
福音館書店

6さいのともこ
と4さいのたかし
のきようだが、自
分のたいせつなた
からものをくらべながら、いろいろ
なほうほうでとりかえっこをし、「た
からもの」とはなにかを、かんがえ
させるおはなしです。



【三年生】
「草の名前が葉っぱでわかる」
ぶん・近田文弘 大日本図書

学校の帰り道、
「何だろう？」と思
う草の名前が分か
る本です。名前が分かると、友達が
好きになるように、草の名前が分か
るととてもその草が好きになるでし
よう。



【四年生】
「大どろぼう ホッツエンプロッツ」
プロイスマー・作 偕成社

カスパールは、おばあさんの大事

なコーヒーひきを取
り返すために、仲良し
ゼッペルと大どろぼ
うを捕まえる決心をしました。大冒
険です。さあ、二人の少年といっし
よに大どろぼう「ホッツエンプロツ
ツ」のあとを追跡しませんか。



【五年生】
「いっほんの鉛筆のむこうに」
谷川 俊太郎・文 福音館書店

人間は、鉛筆一本す
ら自分一人では作り
出せません。今までは、
どこうちの引き出しの中にも転が
っている鉛筆ですが、その一本の鉛
筆を作るためには、数えきれぬほど
大勢の人が力を合わせています。



【六年生】
「バッテリー」あさのあつこ・作
教育画劇

豪（ごう）となら、
もつと前に進めるよ
うな気がします。試合
に出るとか出られな
いと、そんな小さなことではなく、
もつと別の大きなことができるの
はないでしょうか。豪は、巧（たく
み）を信じると言ったのです。



学校司書の研修

学習指導要領には、「児童・生徒が自ら課題を発見し、それを解決する」ために、学校図書館の役割の大切さが示されています。

その中心となる司書教諭や学校司書の存在がクローズアップされ、主体的な学習の支援や、情報提供等が大切な役割となっています。本市の学校司書を対象に、学校図書館の目的や意義、調べ学習の取組、ブックトークや読み聞かせ等の技能を身に付けるための研修を進めています。



【編集委員】

教育センター 研修室長 小川 隆志
第一小学校 学校司書 元木 愛枝
第八小学校 学校司書 杉山 薫
雷塚小学校 学校司書 木村 知佐
第一中学校 学校司書 栗原千代子
第五中学校 学校司書 西久保静江

